令和７年度

地 域 連 携 推 進 会 議
（共同生活援助「さくら苑」）

地域連携推進会議は、グループホームの運営が閉鎖的なものにならないよう地域の関係者を含む外部からの視点を定期的に入れることで、風通しをよくすることが目的です。利用者さん、会議の構成員のみなさんからさまざまなご意見をいただき、施設内も見学していただきました。新たな気づきもあり、みなさんからのご意見を参考にして今後の運営や支援に活かしていきたいと思います。

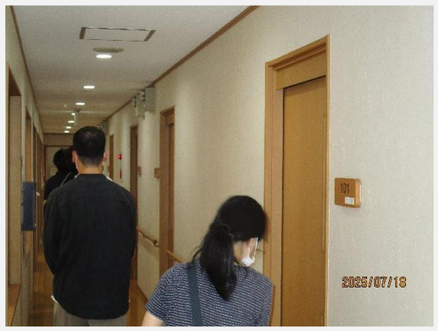
日時　令和７年７月１８日（金）１３：３０～１５：００

場所　法人会議室

参加者
（利用者代表）市丸千恵子氏、木村誠氏
（家族）渡瀬則彦氏（都合により欠席）
（行政機関）高橋早苗氏
（医療機関）和気徹尚氏
（地域の方）清原稔氏
（共同生活援助「さくら苑」）瀧上雅恵、姫野健
（共同生活援助「みらい」）柏木信之介（さくら苑坂本代理）

次第

1．　事業所見学
2．　挨拶
3．　出席者紹介
4．　共同生活援助「さくら苑」について
5．　運営・活動報告
6．　利用者さんからの要望及び
　　参加者からの助言
7．　その他



さくら苑（１Ｆ女性用、２Ｆ男性用）

参加者からのご意見

「今の生活では収入が少ないので生活が苦しい。」
「ショートステイだったさくら苑の部屋に洗面台とかがみをつけて、コンセントをふやして下さい。できたらシャワー室を作って、トイレをもっと大きく新しくしてほしい。」
「焼きそば、焼肉を食べたい。」
「もう寝てばかりで時間が経ちません。」
「買い物支援や介護予防体操など普段の活動も個別のものとして紹介してもいいのでは。」
「買い物支援について、この辺で買えないものの購入についてサポートできるともっといいと思います。」
「地域のイベントなどへの参加はどうなっていますか。」